

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立産業会館						
指定管理者名	公益財団法人 相模原市産業振興財団						
指定期間	令和元年度から令和5年度						
施設設置条例	相模原市立産業会館条例						
施設の設置目的	産業を振興し、及び市民の産業に対する理解を深める場を提供することにより、市内産業の健全な発展を図り、もって活気とにぎわいのある豊かな都市の創造に寄与すること(相模原市立産業会館条例第2条)						
施設概要	相模原市中央区中央3丁目12番1号 敷地面積 1,369.30㎡ 建築面積 1,038.20㎡ 延床面積 4,836.73㎡ 1階 多目的ホール 2階 展示室 3階 大研修室、小研修室 4階 特別会議室(国際商談室)、懇談室(中研修室) 地下1階 OA研修室、多目的室						
施設所管課	環境経済局 産業支援課						

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	103,370	98,915	83,111	30,508	51,051		
利用料金合計(円)	22,619,349	23,426,749	18,406,126	12,052,942	15,313,461		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	評価基準に従い数値上はC評価とせざるを得ないが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により休館や開館時間短縮あるいは外出やイベントの自粛など利用控えがある中で、例年から若干の利用率低下に止めることができたことは評価できる。

指標	
指標名(単位)	産業会館施設利用率(%)
指標式と指標の説明	利用率=利用日(区分)数/利用可能日(区分)数 1日3区分(午前・午後・夜間)で数値は区分で算出 ※施設休止期間は含まない

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	42.5%	43.0%	43.5%	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%
実績値(%)	44.1%	46.0%	42.3%	40.1%	38.5%		
達成度(%)	103.8%	107.0%	97.2%	91.1%	86.5%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	新型コロナウイルス感染拡大の影響による自粛やキャンセルのため利用が進まなかった事業もあるが、提供体制は十分であったことから、全ての項目で○以上の評価とした。また、企画提案事業として利用者ニーズに合わせた機器提供による利用促進を行ったことが高く評価できるほか、翌年度に向け新たな企画の準備を行っている前向きな姿勢も評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
リモート会議の補助機器提供による会館利用促進事業	随時	令和2年12月からリモート会議に対応したスピーカー・マイク・プロジェクター等の提供 令和3年度:3団体8回	◎
来館者へ向けたモニターでの情報提供事業(検討)	R3.12月から	R4.4月から館内モニターを利用した情報提供(デジタルサイネージ)の準備(コンテンツの拾い出し、機器購入等)を実施した	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
OA研修室活用事業(無料PC教室)	通年	・小学校でのプログラミング教育の実施を踏まえ、プログラミング的思考への一助となることを目的に、幼児から小中学生を中心として幅広い年齢層に対応した講座を用意した。「①プログラミング体験教室(年中～小学2年)」、「②プログラミング教室(小学3年～中学)」「③パソコン体験教室」を実施した。開催講座数は83、参加者数は161人(①16人、②64人、③81人)	◎
イベント・コンベンション等産業事業振興利用促進事業	通年	・企業等のイベント・コンベンション利用等の促進のため全館利用のパッケージ料金を設定し、HP、チラシに掲載し、継続して利用促進を図った。利用件数:2件	◎
市民文化活動推進事業	通年	・幼稚園等の演芸会、音楽・舞踏の発表会など音を出す利用区分として、多目的ホールと2階及び3階を同時に利用した場合のパッケージ料金を設定し、利用者サービスの向上や利用の促進を図った。利用件数:1件	◎
トライアル発注認定製品展示事業	通年	・相模原市トライアル発注認定製品の紹介として、1階ロビーの壁面に紹介シート(元年度17・2年度17製品)を掲示、令和3年度7製品については、カタログをラックに配架して周知を図るなど、認定製品の販路の開拓及び拡大を支援している。また、モニターによる周知を企画し、令和4年度からの実施に向け、準備を進めた。	◎
財団事業の会館活用事業	通年	・産業振興財団が主催する「コミュニティビジネス推進事業」(4回)、「事業承継セミナー」・「SOHO支援事業」(各1回)を実施することで、利用機会の提供と産業支援・振興の情報、学習機会の提供を進めた。	◎
自動販売機活用事業	通年	・館内に設置する自動販売機の売上による手数料収入を得た。 ・設置数 5社5台 手数料総額 512千円	◎
産業会館利用促進事業	随時、通年	・コロナ禍を踏まえ、2年度に未実施となった産業会館まつりのロボット講習会について、再度企画し、市広報紙・HP等で募集した(開催日は令和4年4月2日・3日)。 ・新規パンフレットの作成と1階ロビー壁面部分にモニターによる情報提供を主な内容とした新規の情報コーナーを企画し、コンテンツ検討・準備を進めた	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	評価基準に従い数値上はB評価とせざるを得ないが、これまでの実績と同じく満足度は極めて高く、サービスレベルが十分に維持されていると評価できる。今後も、サンプル数を増やす等により、より多くの利用者の意見を取り入れ、満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者に対し「お客さまアンケート」を実施 時期:令和3年11月1日～30日 サンプル数:59件
目標値の基準	「お客さまアンケート」の満足度等経年比較を行う項目の内施設全体的な満足度を問う設問(7項目)について、肯定的評価数を総サンプル数－無回答等で除した値(%)で算出

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	—	—	—	98.0%	98.5%	99.0%	99.0%
実績値（%）	—	—	97.5%	98.7%	98.4%		
達成度（%）	—	—	—	100.7%	99.9%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	受付窓口に「お客さまの声」を記入する用紙と投函ボックスを設け、いつでも意見要望を受け付け、必要な対策を講じる体制を採っている。令和4年3月から全室に設置
パソコン教室アンケート	随時	無料PC教室では参加者アンケートを実施し、参加者の属性、受講目的等の項目を設け、利用者ニーズ、要望等を吸上げ、満足度の向上に活用している。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	決算において収入が支出を大きく上回っていること、また、公認会計士である選考委員の意見として、団体本体の経営状況について特段の問題はないと報告されていることを踏まえ、S評価とした。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
収入（a）		86,685	93,619	91,348	
	指定管理料	67,374	68,507	67,481	
	利用料金収入	18,406	12,053	15,313	
	その他の収入	905	13,059	8,554	
支出（b）		84,307	83,428	85,730	
	人件費	18,838	18,578	19,848	
	本社管理経費	0	0	0	
	その他の支出	65,469	64,850	65,882	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		2,378	10,191	5,618	
自主事業収入（d）		512	240	328	
自主事業支出（e）		220	117	208	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		292	123	120	
全体収支 【(c)+(f)】		2,670	10,314	5,738	
備考	収入面では、利用料金について、新型コロナに伴う緊急事態宣言中の施設休館等の制限が令和2年度に比べ短期間であったことから増加している。				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。				

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年3月31日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

管理業務については、お客さまアンケートで引き続き、全般評価が9割以上から良い評価を得るなど、通常業務でも確実、的確な対応がとれていると考えている。コロナの感染拡大防止対策として、新たに自動検温機や間隔キープ用座席カバーを用意するなど適切なコロナ感染予防対策が実施できた。

自主事業においては、年度末に開催を予定していた産業会館まつりが、コロナ禍の利用制限により実施することができなかった。代替事業として、講習会を企画・実施することが出来たが、こうしたコロナの影響等により、産業会館の市民への認知度の低下を懸念している。

10 所管課意見

新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業計画で想定していなかった大きな環境の変化が生じたが、施設に求められる感染防止対策を十分に行い、また、利用者ニーズを汲み取った企画提案事業を行い利用促進を図るなど臨機応変に施設管理運営に取り組んだことは高く評価できる。

一方で、成果指標である施設利用率については約4割程度で横ばいが続いており、改善に向けたより一層の取り組みが課題である。これまでの利用実績やお客さまアンケートを分析するなどによって、施設に係る需要を的確に捉えた利用促進を図っていただきたい。

11 選考委員会意見

- ・ コロナ禍で、会館の開業期間が制限される中、利用者数も利用料金についてもよく確保されたものと思う。昨年に比べても改善しつつあることは、評価できる。
 - ・ コロナ対策として、Web会議用の機器や、手指消毒器や換気用ファンの設置など、積極的な対策をとられていることも評価できる。
 - ・ 来館者へのモニターでの情報提供は、今後を見据えた取り組みであり、タイムリーな情報提供や紙の無駄を削減することにも貢献しており、評価できる。
 - ・ お客さまアンケートで、知った理由の殆どが「引き継ぎで以前から知っている」となっている。これは新規利用者が少ないと思われる。これからは、新規の利用者の開拓が必要と感じる。
 - ・ 上記との関連で、ホームページの閲覧で知られることも多い。インターネット予約は好評で評価できる。また、新規の場合の手順などについても記載され、改善されている。
 - ・ ウェブアクセシビリティについて、文字の大きさを可変に、ダウンロードファイルの種類とサイズの記載、画像に代替テキストなどの指摘がある。中でも「代替テキスト」の付加については視覚障害者対応として重要なので、対応されたい。トップページの写真には付加されているようだが、全てにあるわけではないのが問題である。
 - ・ 請け負っている公益財団法人との間で、シナジー効果を生む事業が少ない。外国人受け入れセミナーや国際化セミナーなどもこの会館での実施が一案であろう。また、民間企業の利用が少なく、民間企業の定期的利用などを促進することが望まれる。
 - ・ 自主事業の「イベント・コンベンション等産業事業振興利用促進事業」と「市民文化活動推進事業」は、昨年度の0件に対し、コロナの影響下でもそれぞれ1件、2件の利用があったことから「◎」とされたのかもしれないが、今後、アフターコロナになった時に、コロナ以前より利用件数を大幅に増やせた経営努力が認められた場合、「◎」以上の評価ができないので、「◎」と「○」の基準・考え方を整理しておいた方がよい。
 - ・ コロナ禍の中、会議会場や会議開催等制限がある中、公益性の高い施設としての特典を活かした産業会館や機器の貸出を行っている事は、企業や各団体にとって非常にありがたい事である。自主事業でも、産業、文化、教育等市民生活向上に向けた事業展開は良い事である。全ては、産業会館の設置目的「産業を振興し、及び市民の産業に対する…」であり、コロナ禍であっても、この目的に少しでも近づけることで存在意義が増す。
 - ・ イベント・コンベンション等産業事業振興利用促進事業に関しては2件、市民文化活動推進事業に関しては利用1件と73万人都市である相模原市の中心地にあり、コロナ禍の中ではあるものの、だからこそ、自社等ではできない会議等の催し物等に活用出来る、これだけの設備を有した会館をもっと積極的にPRをして、市民生活に役立てて頂くことを提案する。これだけの施設があれば、いろんな事業や催し物等に活用できる施設なので、機器の貸出を含め利用促進を促すPRを積極的に展開して頂ければと思う。
 - ・ お客さまアンケート実施については、今後の利用促進についての貴重なデータとなるが、利用者については恐らく、中央区が中心になるうかと思う。利用者の地区（緑、中央、南）の区分を設けたらいかがか。（パソコン教室は区分有り）
- 結果、利用者の声を聴く事（改善策）で、市内各地域から利用しやすい会館運営に繋がり、利用価値が高められると思う。
- ・ 成果指標の達成度は低下したが、制約された環境の中で、利用者数利用料金が増加傾向にあることは施設の運営に努力されていることと評価できる。
 - ・ 剰余金が大きく生じていることから、コロナ禍が終息した場合に備えて利用者への還元策を考慮してほしい。

総合評価 (自動判定)

A

(70/100)

